

読解編  
目次

① 指示語をつかむ	4
② 接続語をつかむ	8
③ 文脈をつかむ	12
④ 文脈をつかむ 2	16
⑤ 場面・情景をつかむ	20
⑥ 場面・情景をつかむ	24
⑦ 心情・性格をつかむ	28
⑧ 心情・性格をつかむ	32
⑨ 表現の特色をつかむ	36
⑩ 表現の特色をつかむ	40
⑪ 韻文の表現をつかむ	44
⑫ 主題を支える題材をつかむ	48
⑬ 主題を支える題材をつかむ 2	52
⑭ 主題をつかむ 1	56
⑮ 主題をつかむ 2	60
⑯ 事実と意見を区別して内容をつかむ 1	64
⑰ 事実と意見を区別して内容をつかむ 2	68
⑱ 文章の構造をつかむ 1	72
⑲ 文章の構造をつかむ 2	76
⑳ キーワード・キーセンテンスをつかむ	80
㉑ 要点をつかむ 1	84
㉒ 要点をつかむ 2	88
㉓ 要旨をまとめる・要約する 1	92
㉔ 要旨をまとめる・要約する 2	96

# 知識編 目次

1 画数	100
2 筆順	102
3 音読み	104
4 訓読み	106
5 漢字の読み方のまとめ	108
6 漢字の成り立ち	110
7 部首	112
8 同音異義語	114
9 同訓異義語	116
10 熟語の組み立て	118
11 類義語	120
12 対義語	122
13 主語・述語	124
14 修飾語	126
15 文節・文の組み立て	128
16 ことわざ	130
17 慣用句	132
18 かなづかい・送りがな	134
19 単文・重文・複文／文学史	136
20 敬語	138
21 体言・用言	140
22 体言・用言以外の自立語	142
23 助詞	144
24 助動詞	146

## 1

## 指示語をつかむ

学習日 月 日

## ■ ポイント ■

## 指示語の内容をつかむためには

## 1 指示語の内容をつかむための手順

(1) 指示語を含む文は、文脈を重視して、文末まで読む。

(2) まず、指示語の前の部分からさがす。(ただし、指示語の後に指示内容が述べられている場合もあるので、前の部分を見て指示内容にあたる部分が見つからない場合は、後をさがす)

(3) 見つけた、または、まとめた指示内容は、必ず指示語の部分に代入して、意味が通るかどうかを確認する。

## 2 つかんだ指示語の内容をまとめるときの注意点

## (1) 設問に正しく対応させる。

## (1) 「何」を指しているか

→ 「何」に置きかえられることば(名詞)のぬき出し

## (2) 「どういうこと」を指しているか

→ 「すこと」という形になるようにまとめる

## (3) 「——線部」の指示示す内容

→ ——線部に入れて文がすんなり続くようにまとめる  
つかんだ指示語の内容は、「——こと」の形にまとまることが多いが、あくまでも、——線部との対応の仕方で文末をまとめる心配りが必要である。

## (2) 指示語の種類によってまとめ方を変える。

(1) 「これ・それ・あれ・どれ」「こっち・そっち・あっち・

どっち」「——・そこ・あそこ・どこ」  
↓具体的なもの・方向・場所を、文の中からぬき出したり、「——こと」などとまとめたりする。

(2) 「この・その」「こう・そう」  
↓いずれもかぎりことば(修飾語)であり、そのことばがかかるていく語に続くよくなまとめ方が必要。

(3) 指示語の内容をまとめるときには、その文の中には指示語を用いないように注意する。

## 確認問題

1 次のそれぞれの文の——線部のことばが指している部分を、それぞれ七字以内で書きぬいて答えなさい。

(1) 野生のひぐまは、二メートルをこす雪の下にある土のあなの中

で、冬ごもりをします。それを観察した記録は、あまりありません。

(2) わたしは北海道の山の中で、野生のひぐまを観察することになりました。そこで冬ごもりの様子を知りたかったからです。



□ (2) 海流は、太陽の熱・地球の自転・風の三つの作用、また、それらのほかに、複雑な大陸の地形が加わって生じるものなのです。

□ (1) 人のいない島へ行つて、そこで生活してみたい。

**2** 次のそれぞれの文の——線部のことばが指している部分を、それぞれ書きぬいて答えなさい。

□ (5) 十二月。ひぐまはしょぼしょぼした目で、一日中あなたの入口にすわっています。そこで冬ごもりの始まる日を待つてあります。

□ (4) ひぐまはせつせと集めたささやかれ草を、あなたの入口のところまで運びます。次に、それらを口にくわえたり、前足でかかえたリして、お尻からあなたの中に入つていきます。

□ (3) 十一月になると、あちこちのささやぶの中で、ひぐまが、さかんにささをかみ切り始めます。このころから、もう冬ごもりの準備が始まっているのです。

〈辻仁成「そこに僕はいた」より〉

**3** 次の文章の——線部のことばが指している部分をさがし、その最初と最後の五字(読点も字数に数えます)を書きぬいて答えなさい。

□ (4) これは本を読んで知ったことだが、文章を読むと、それを書いた人の性格までわかるということだ。

□ (3) 学校での点数ではかる学力だけが、能力だということはない。それは能力のごく一部にすぎない。

練習問題

- 2** 次の文章を読んで、——線部のことばが指している内容を、二  
十字以内（句読点も字数に数えます）でまとめて書きなさい。

**1** 次の文章の、それぞれの——線部のことばが指している内容を、

①は、「～」と「～」という形で二十五字以内で、②は、「～場合。」  
という形で十五字以内で、それぞれ書きなさい。

〈加藤秀俊「日本人の周辺」より〉

〈水口博也「クジラ大海原をゆく」より〉

(注) 減衰＝少しずつへっていくこと。

次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

〈富山和子「森は生きている」より〉

(1) —線①「そんなはたらき」が指している内容を、「はたらき」に続く形で本文中から書きぬいて答えなさい。

はたらき

(2) —線②「それ」が指している内容を、「こと」という形で書いて答えなさい。

こと。

(3) —線③「それ」が指している内容を、十字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。


(4) —線④「そのため」が指している内容を、「ため」に続く形で本文中から書きぬいて答えなさい。
